

1 2020年を振り返って

■本年中の糸島市の主な出来事や取組

◎糸島市制施行10周年を記念して各種記念事業を展開

⇒糸島市は本年1月1日で10周年を迎えた。記念事業として、1月に記念式典を開催。3月には、糸島新聞社との共同企画『郷土糸島の偉人たち』で、12人の偉人を選定。また、9月には、偉人にも選定された岡部平太を主人公とした舞台も上演された。

◎新型コロナウイルス感染症の影響で毎年恒例のイベントが軒並み中止に

⇒新型コロナウイルスの影響により、福岡マラソンは2014年の開催以来初の開催中止。毎年恒例の市民まつりや各地のイベント・伝統行事なども軒並み中止となった。

◎市の大型プロジェクトが本格始動！糸島市運動公園の整備と新庁舎建設

⇒糸島市運動公園は整備・運営事業者が決定し、令和5年7月の供用開始を目指す。また、新庁舎については、基本設計が完成。令和6年1月の供用開始を目指す。

◎ワンランク上のまちづくりへ！『第2次糸島市長期総合計画』を策定

⇒計画期間は令和3年度から令和12年度の10年間。誰もが将来に渡って誇りを持ち、暮らしの豊かさを実感できる『ワンランク上』のまちを目指す。

◎糸島を舞台に新しい交通網を整備！『よかまちみらいプロジェクト』が発足

⇒移動サービスを活用した地域の活性化に向け発足。プロジェクト第一弾は糸島半島が舞台。本市では、来年からオンデマンドバス及び小型EVの実証実験が開始。

◎国際村構想の実現化第一弾！国際寮『セトルインターナショナル』がオープン

⇒『糸島市九州大学国際村構想』の実現化第一弾として、本年8月にオープン。第二弾となる国際ホテル『グローバルホテル糸島』についても、来年オープン予定。



1 2020年を振り返って

◎イギリス情報誌『MONOCLE』の『輝く小さな街』2021年ランキングで世界3位

⇒人口25万未満の世界の街が対象。豊かで身近な自然環境、糸島ブランドの農水産物、馴染みやすい地域コミュニティ、都市部からの利便性などが総合的に評価された。

◎糸島市の人口が過去最高を更新

⇒2020年11月末現在の人口は102,344人で過去最高を記録。今後も増加を見込んでおり、第2次糸島市長期総合計画における10年後の将来人口は104,000人に設定。

◎台風9号・10号により各地で被害が発生！避難所の避難者数が過去最大に

⇒相次ぐ台風の影響で、停電や窓ガラスが割れるなどの被害。飯原の雉琴神社では境内の倒木で本殿が崩壊。台風10号では市内避難所に過去最大の1,319人が避難。

◎『糸島市ふるさと応援寄附』の寄附額が過去最高に

⇒令和元年度の寄附額が過去最高を記録（6億9,865万円）。魅力あふれる返礼品数の増加に比例し、寄附件数についても過去最高を更新（2万7,115件）。

◎福吉地域・怡土地域に光回線を整備！市内のほぼ全域で光回線の利用が可能に

⇒本年5月からサービスの提供を開始。未整備地区である姫島についても、公衆無線LANの整備により、大容量データ通信が可能となる。

■その他

◎市税などの支払いにキャッシュレス決済を導入

◎コロナに負けるな！『シトラスリボンプロジェクト』を推進

◎小中学校1人1台端末の整備が完了！GIGAスクール構想に基づく教育環境の整備

◎糸島でのハッピーな子育てを支援！子育て世代包括支援センター『いとハピ』を開設

◎子育て世代にきめ細やかな情報を！市公式アプリ『いとハピナビ』を配信

◎多様化・複雑化する高齢者相談への対応を強化！基幹型地域包括支援センターが開設

◎災害情報サイト『糸島防災ポータル』の提供を開始

